

## もち食文化の発信へ 新土産3商品、道の駅で販売へ

当町を含む一関地方に伝わる「もち食文化」が昨年11月に、農林水産省の「食と農の景勝地」に認定されたことを受け、町では松栄堂(小野寺宏真代表取締役社長)、千葉恵製菓(千葉正利代表取締役)、菓子工房吉野屋(吉野雅之代表)の3社とともに「もち(もち米)」を使った平泉の土産品の開発を進めてきました。地域の農業や商業の活性化を図るため、新たに開発された3つの商品は今後、道の駅平泉で販売するほか、各事業者で販売されます。



## 豊かな自然を次の世代に 川嶋印刷株式会社が環境大賞を受賞

模範的な環境活動を展開する事業者として、川嶋印刷株式会社が平成28年度県南広域振興局環境大賞を受賞しました。3月27日には、同社代表取締役の菊地慶矩さんが町役場を訪れ青木町長へ受賞を報告。ISO14001を取得し社内で使用されるエネルギーの管理・省エネ化を進め、環境や生態系に配慮した事業を展開しており、その姿勢が高く評価されました。またいわて環境学習応援隊として環境学習の機会を提供するなど、普及啓発活動にも取り組んでいます。



## 阿部さんに消防庁長官表彰 地域消防の発展に功労

町消防団の前第4分団長の阿部政夫さん(5区)が消防功労者として、平成28年度消防功労者消防庁長官表彰(永年勤続功労賞)を受章しました。

阿部さんは、昭和47年4月に町消防団員を拝命以来、平成23年4月に第4分団副分団長、25年4月からは同分団長として、消防業務に尽力されてきました。

4月12日に町役場に青木町長を訪ねて受賞を報告し、今後とも町の安全、安心のために協力することを誓いました。



## 新入学児童の交通安全に 交通安全母の会が黄色い帽子を贈呈

3月28日、町交通安全母の会連合会(千葉千代子会長)が交通安全活動の一環として、新入学児童用の交通安全用品を町教育委員会に贈りました。

岩淵教育長のもとを訪れた千葉会長(写真中央)と小野寺祐子副会長(写真左)は「新1年生が事故に遭わないよう子どもたちの交通安全に役立ててください」と平泉小43人と長島小10人の計53人分の黄色い帽子と蛍光素材のランドセルカバーを手渡しました。

## 地域の防火へ決意を新たに 長島少年消防クラブに1年生10人が入団

4月12日、長島小学校の全校児童89人で組織する長島少年消防クラブの平成29年度入団式が行われました。この春入学した1年生10人が新たに仲間に加わり、クラブ手帳とバッジが大内安男一関西消防署副署長から交付されました。

その後全クラブ員で「火災をなくす誓い」を力強く唱和し、火災のない住みよい地域を目指すことを誓いました。

同クラブはさまざまな活動を通して、防災、防火意識を高め、ふるさとを大事にする心を育んでいます。



## 老後を生まれ育った地で過ごす 特別養護老人ホーム「いこいの結」開所

社会福祉法人寿慈会(岩淵吉郎理事長)が長島字竜ヶ坂地区内に整備を進めていた特別養護老人ホーム「いこいの結」が完成し、4月1日に現地で開所記念式典が行われました。

式典には関係者約70人が出席。岩淵理事長、青木町長、施設利用者代表らがテープカットを行い、施設の完成を祝いました。施設では、要介護3以上の平泉町と一関市の住民を入居対象とした小規模特別養護老人ホームと短期入所生活介護の両事業を展開していきます。



## 行政相談に尽力 前行政相談委員の佐藤さんに感謝状

佐藤伸さん(20区、写真中央)は、平成21年4月1日から8年にわたり、行政相談委員として行政に関する苦情や要望などの相談にあたり、行政サービスの改善や行政相談制度の発展に寄与されたことから、総務大臣より感謝状が贈呈されました。

行政相談委員は、総務大臣が行政相談委員法に基づいて民間有識者の中から委嘱するもので、無報酬で地域住民の身近な相談相手として活動しています。



## 子どもたちの安全を守る スクールガードに委嘱状交付

町教育委員会は4月4日、児童の登下校時の見守り活動を行っていただく学校安全ボランティア「スクールガード」41人に委嘱状を交付しました。

スクールガードは、安全で安心な学校環境を目指し委嘱しているもので、児童の登下校時に街頭に立ち、温かく見守りながら、児童の心に安心を与えています。事業を開始して以来、町内で児童が巻き込まれる大きな事件・事故は発生しておらず、スクールガードによる成果が上がっています。